

こころをこめた おべんとうをどうぞ

—「A表現(2)」—

～紙を切ったり、貼ったり折ったり、丸めたりなどして

家族にプレゼントするお弁当づくりに挑戦しよう～

広島市立東野小学校 青野 直子

1 日時・場所 平成24年11月22日(木) 9:55～10:40 1年1組教室

2 学年・組 第1学年1組(男子15名 女子13名 計28名)

3 題材について

- 本学級の児童は、図画工作科の時間をとても楽しみにしている。絵をかいたり物をつくったりする活動に積極的にかかわろうとする児童が多い。しかしその一方で、発想がなかなか思い浮かばず、自分の思いを表現することに自信のない児童もいる。技能については、4月から少しずつ、はさみの使い方やのりの接着の仕方を学習しているところである。それぞれの適切な使い方ができないために、自分のイメージ通りに表現できない児童もいるが、友だちの真似をしながら、一生懸命につくっている姿も見られる。鑑賞については、自分の作品を友だちに見てもらいたい気持ちが強く、また友だちの作品にも興味をもち、お互いの作品のよさや面白さを感じ取り、思ったことを自由に伝え合うことができる。しかし、形や色などの細かい部分を感じ取ることの難しい児童もいる。
- 本題材は、プレゼントする家族の好みに自分のアイデアを加え、紙を切ったり、貼ったり、折ったり、丸めたりしながら家族に贈るお弁当をつくるという題材である。本題材を通して、いろいろな素材の紙や色をもとにつくりたいお弁当の中身を思い付くことで発想や構想の能力を育てたいと考える。また、思い付いたお弁当の中身に合わせ、はさみやのりを使いながらつくり方(切る・貼る・折る・丸める)を工夫することで創造的な技能を育てることが期待できる。また、お互いの作品を鑑賞することで、お互いの表現の工夫や面白さを感じ取らせたい。勤労感謝の日に向けて、日頃自分たちのために食事をつくったり、働いたりしてくださっている大好きなおうちの方へお弁当をプレゼントすることは、相手意識をもち、わくわくしながら意欲的に活動に取り組めると考えられる。また、おうちの人に喜んでほしい、喜ばせたいという思いをもちながらお弁当づくりをすることで、思いやりの気持ちを育てることにつながればと考える。お家の人喜んでくださるようにと最後までていねいにつくりあげた時の満足感を味わうことで、自信をもって表現することにもつながっていくと考え、この題材を設定した。
- 指導に当たっては、家族に感謝の気持ちをもつことにより、道徳の活動ともつなげたいと考えているので、プレゼントする作品(お弁当)も心を込めて、ていねいに取り組めると考えた。本題材では、お弁当を自分でつくってプレゼントする相手意識をもつことによって、児童の意欲も高めたい。また、家族の喜ぶ顔を想像しながら、紙の素材や色などを考えさせ、切る・貼る・折る・重ねる・巻く・丸める・包むなどの紙の工夫で、お弁当の中身を表現させたい。なかなか表現できない児童には、いろいろな技法で分かりやすく示した教師の試作品を「お助けコーナー」として設けることで、自信を持たせて取り組ませたい。また、友だちの表現方法を取り入れられるように、お互いの活動途中の作品を自由に見合えるようにし、意欲が失われないようにしたい。友だちの作品を鑑賞し合うことで、表現や技能を高め合っていけるようにしたい。

4 題材の目標

○紙を使って、切る・貼る・折る・丸めるなどの工夫をして、お弁当の中身をつくってつめる。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
題材の評価規準	自分たちが、お弁当の中身をつくることに、楽しく取り組みようとしている。	いろいろな素材の紙や色をもとに、お弁当の中身を思い付いている。	お弁当の中身に合わせて、はさみやのりを使いながら、切る、貼る、折る、丸めるなど、つくり方を工夫している。	自分が感じたことや思ったことを話したり、簡単な文で書いたりしながら、友だちの作品の面白さや造形的な活動の楽しさを感じている。

6 指導と評価の計画 (全 5 時間)

時間	学習活動	学習活動における具体的な評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する 状況への手立て
第一 次 4 時間 本 時 1 / 4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お弁当に入りたいものをつくる。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・つくりたい物のイメージに合わせて、紙の素材や色を選ぶ。 ・工夫しながらお弁当の中身をつくる。 ・お弁当箱にもりつける。 	イ ア ウ (観察)	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをふくらませながら、お弁当の中身をつくることに楽しく取り組んでいる。 ・いろいろな素材の紙や色をもとに、<u>進んで</u>お弁当の中身を考えている。 ・お弁当の<u>中身に合わせて紙の素材を選び</u>、はさみやのりを<u>適切に</u>使いながら、つくり方を工夫している(切る・貼る・折る・重ねる・巻く・丸める・包むなど)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなつくり方の過程が具体的にわかるような、お助けコーナーを準備する。 ・友だちの作品を参考にさせる。
第二 次 1 時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お互いのお弁当を鑑賞する。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人からの感想を発表し、お互いの作品を見合う ・感じたことを書いたり伝え合ったりする。 	エ (ワークシート・発言)	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを<u>進んで</u>ワークシートに書いたり、話したりしながら、お互いの作品を見て、表現の工夫や、形や色のおもしろさなどを、感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書くことにより、お互いの感じたことが伝えられるようにする。

7 本時の目標

いろいろな素材の紙の形や色をもとに、お弁当の中身を考えてつくる。

8 準備物

(指導者) いろいろな素材の紙・アルミカップ・爪楊枝

(児童) はさみ・のり・色紙・ティッシュペーパー・のり下紙・お手拭き・お弁当箱

9 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準・評価方法
1 本時の学習内容をつかむ。	○お弁当の写真を見せて、本時の学習意欲を高めるような導入をする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> めあて わたすときのことをかんがえながら、 かみからくふうして、こころをこめてりょうりをしよう。 </div>		
2 紙の加工の仕方を確認する。	○はさみの安全な扱い方、のりの接着方法などの確認をする。 ○具体物を用いて切る・折る・貼る・丸める・包むなどの加工の仕方を示す。	
3 つくりたい物に合わせて紙を選び、工夫しながら、お弁当の中身をつくる。	○つくりたい物に合わせて紙が選べるようにいろいろな素材の紙を準備しておく。 ★素材の組み合わせや、表現方法で困っている児童には、【お助けコーナー】で、自分のできる表現方法を見付けさせる。	ウ (活動の観察)
4 後片付けをする。	○次に使う人の事を考え、用具や、残りの材料をていねいに片付けさせる。	
5 学習をふりかえる。次時の予告をする。	○本時のめあてをふりかえり、感想を聞き合う。	

こころをこめた お弁当とうを どうぞ

—「A表現(2)」—

～紙を切ったり、貼ったり、折ったり、丸めたりなどして

家族にプレゼントするお弁当づくりに 挑戦しよう～

広島市立東野小学校 竹越 美枝子

1 日時・場所 平成24年11月22日(木) 10:10～10:55 1年2組教室

2 学年・組 第1学年2組(男子14名 女子15名 計29名)

3 題材について

- 本学級の児童は、図工の時間が好きで楽しみにしている児童が多い。また、活動中は、一生懸命にいてねいに取り組む児童が多い。発想や構想の能力については、すぐにイメージが膨らみ、活動にとりかかったり、自分の発想を大切に自信をもって表現したりする児童もいるが、友だちの表現を見てイメージを膨らませることはできるものの自分なりの発想をもつことが難しかったり、自分の表現に自信がもてなかったりする児童もいる。これまでの学習で、はさみの基本的な使い方は習熟してきているが、のりなどの接着の技能は、まだ十分に身につけているとはいえない。鑑賞に関しては、興味をもってお互いの作品を見たり、お互いの作品のよさや感じたことを自由に伝えあったりすることはできる。
- 本題材は、家族の好みに自分のアイデアを加え、紙を切ったり、貼ったり、折ったり、丸めたりしながら家族にプレゼントするお弁当をつくるという題材である。本題材を通して、いろいろな素材の紙や色をもとにつくりたいお弁当の中身を思い付くことで発想や構想の能力を育てたいと考える。また、思い付いたお弁当の中身に合わせ、はさみやのりを使いながらつくり方(切る・貼る・折る・丸める)を工夫することで創造的な技能を育てることが期待できる。また、お互いの作品を鑑賞することで、お互いの表現の工夫やおもしろさを感じ取らせたい。勤労感謝の日に向けて、日頃自分たちのために食事をつくったり、働いたりしてくださっているおうちの方に喜んでほしい、喜ばせたいという思いをもちながらお弁当づくりをすることは、相手意識をもち、わくわくしながら意欲的に活動に取り組めると考えられる。また、お弁当のプレゼントを通し家族とのこころの交流につながればと考える。おうちの人喜んでくださるようにと最後までいてねいにつくりあげたときの満足感を味わわせることで、自信をもって表現することにもつながっていくと考え、この題材を設定した。
- 指導に当たっては、お弁当をつくる必然性を感じることができるよう、道徳(家族愛)の学習と関連させながら題材に出会わせたい。いつもお世話になっているおうちの人に喜んでもらうためにはどうすればよいのかという視点をもちながら学習を進めていきたい。導入では、ものを切る・貼る・折る・丸めるなどの表現方法を提示したり、材料や用具の扱い方が確認できる提示物や試作品を見せたりすることで、さらに表現を工夫できるようにする。表現の段階では、つくりたいもののイメージに合わせて、いろいろな材質や色の紙を選ぶことができるコーナーを準備しておく。紙を使ってつくるつくり方が具体的にわかるような「お助けコーナー」を設け、子どもたちの参考にさせたい。できあがったお弁当をおうちの方に見てもらい、メッセージ(感想)カードをもらった後、まとめの鑑賞を行う。おうちの人からもらった感想やその時に感じたことなどを発表しながら作品を見合ったり、ワークシートを使ってお互いの表現の工夫やおもしろさに気づいたりできるように話し合いを工夫したい。

4 題材の目標

- 紙を使って、切る・貼る・折る・丸めるなどの工夫をして、お弁当の中身をつくってつめる。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
評価規準	自分たちが、お弁当の中身をつくることに、楽しく取り組もうとしている。	いろいろな素材の紙や色をもとに、お弁当の中身を思い付いている。	お弁当の中身に合わせ、はさみやのりを使いながら、切る、貼る、折る、丸めるなどつくり方を工夫している。	自分が感じたことや思ったことを話したり、簡単な文で書いたりしながら、友だちの作品の面白さや造形的な活動の楽しさを感じている。

6 指導と評価の計画 (全 5 時間)

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する 状況への手立て
第一 次 (本 時 3 4 / 4 時 間)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お弁当に入れたいものをつくる。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・つくりたいイメージに合わせて、紙の素材を選ぶ。 ・工夫しながらお弁当の中身をつくる。 ・お弁当箱につめる。 	イ ア ウ (観察)	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材の紙や色をもとに、<u>進んで</u>お弁当の中身を考えている。 ・<u>イメージをふくらませながら</u>、お弁当の中身をつくることに楽しく取り組んでいる。 ・お弁当の<u>中身に合わせて紙の素材を選び</u>、はさみやのりを<u>適切</u>に使いながら、つくり方を工夫している(切る・貼る・折る・重ねる・巻く・丸める・包むなど)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなつくり方の過程が具体的にわかるような、お助けコーナーを準備する。 ・友だちの作品を参考にさせる。
第二 次 (1 時 間)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お互いのお弁当を鑑賞する。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人からの感想を発表し、お互いの作品を見合う。 ・感じたことを書いたり伝え合ったりする。 	エ (ワークシート・発言)	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品を見て感じたことを、<u>進んで</u>ワークシートに書いたり、話したりしながら表現の工夫や、形や色のおもしろさなどを、感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書くことにより、お互いの感じたことが伝えられるようにする。

7 本時の目標

紙を使って、切る・貼る・折る・丸めるなどの工夫をして、お弁当の中身をつくってつめる。

8 準備物

(指導者) いろいろな素材の紙・アルミカップ・爪楊枝

(児童) はさみ・のり・いろいろな素材の紙・色紙・ティッシュペーパー・のり下紙
お手拭き・お弁当箱

9 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準・評価方法
1 本時の学習内容をつかむ。	○本時の学習意欲を高めるような導入をする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> めあて わたすときのことをかんがえながら、 かみからくふうして、こころをこめてりょうりをしよう。 </div>		
2 工夫しながら、お弁当の中身をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○切る・折る・貼る・丸めるなどの加工の仕方を掲示し確認する。 ○栄養や色も考えながらつくることを確認する。 ○つくりたい物に合わせた紙が選べるようにいろいろな素材の紙を準備しておく。 ★表現方法で困っている児童には、紙を使ってつくるつくり方がわかる「お助けコーナー」で、自分のできる表現方法を見付けさせる。 	ウ (活動の観察)
3 後片付けをする。		
4 学習のふりかえりと次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○次に使う事を考え、用具や、残りの材料をていねいに片付けさせる。 ○本時をふりかえり、つくり方の工夫について話し合う。次時に、お弁当を完成させることを伝える。 	